

# 令和4年度 第1回飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会 次第

日時：令和5年2月21日（火）19：00～

場所：飯田市公民館3階大会議室

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会の設置目的と役割（資料1）
- 5 飯田市平和祈念館の開設までの経緯と概要について（資料2）
- 6 委員・職員自己紹介
- 7 会議の進め方について
- 8 平和祈念館の見学  
次のような視点で見学していただきたいと思います。
  - ・平和祈念館全体の印象
  - ・見学のしやすさ（導線や展示の流れなど）
  - ・展示内容
  - ・展示解説のわかりやすさ
  - ・小中学校及び社会教育における学習への活用
  - ・平和祈念館の周知や広報のあり方
- 9 意見交換
- 10 その他
- 11 閉会

飯田市平和祈念館展示・活用検討委員名簿

氏名	所属	種別
かわしま かずよし 川島 一慶	飯田人権擁護委員協議会	人権又は多文化共生活動に携わる者
みさわ あき 三沢 亜紀	満蒙開拓平和記念館	飯田市又は下伊那郡において平和の発信に関する施設の運営に携わる者
にしづか ようこ 西塚 洋子	飯田市女性団体連絡協議会	女性団体活動に携わる者
こばやし まさひこ 小林 正彦	下伊那教育会 (阿南町立富草小学校)	教育分野に関する識見を有する者
しのはら たけのり 篠原 岳成	下伊那教育会 (高森町立高森中学校)	教育分野に関する識見を有する者
なかじま まさあき 中島 正韶	飯田市社会教育委員	教育分野に関する識見を有する者
たなか まさたか 田中 雅孝	飯田市歴史研究所	学識経験を有する者
おだ あきゆき 織田 顕行	飯田市美術博物館	学識経験を有する者
おおだいら かずま 大平 一真	飯伊高校生平和・人権・多文化 ゼミナール	その他教育委員会が必要と認める者
すがぬま せつこ 菅沼 節子	飯伊高校生平和・人権・多文化 ゼミナール	その他教育委員会が必要と認める者
かわぐち みつお 川口 充央	飯田市勤労者協議会	その他教育委員会が必要と認める者
よしざわ あきら 吉澤 章	平和のための信州・戦争展 飯伊地区実行委員会	その他教育委員会が必要と認める者
はら ひであき 原 英章	平和のための信州・戦争展 飯伊地区実行委員会	その他教育委員会が必要と認める者

## ○飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会設置要綱

令和4年12月28日

教委告示第22号

## (設置)

第1条 飯田市平和祈念館（以下「祈念館という。」）を通して、次世代に平和の大切さを語り継いでいくため、祈念館の展示及び活用について幅広い市民の意見を聞くことを目的に、飯田市平和祈念館展示・活用検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## (任務)

第2条 委員は、教育委員会からの求めに応じ祈念館の展示及び活用について、意見を述べることができる。

## (組織)

第3条 委員会は、委員15人以内をもって組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者の中から飯田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱する。

- (1) 人権又は多文化共生活動に携わる者
- (2) 飯田市又は下伊那郡において平和の発信に関する施設の運営に携わる者
- (3) 女性団体活動に携わる者
- (4) 教育分野に関する識見を有する者
- (5) 前各号に掲げるもののほか、学識経験を有する者
- (6) その他教育委員会が必要と認める者

## (任期)

第4条 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

## (会議)

第5条 委員会の会議は、教育委員会が必要に応じて招集する。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に会議への出席を求めることができる。

## (事務局)

第6条 委員会の事務局は、教育委員会事務局の生涯学習・スポーツ課内に置く。

## (補則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

## 前 文 (抄)

令和5年1月1日から適用する。

## 飯田市平和祈念館の開設までの経緯と概要について

## 1 飯田市平和祈念館開設までの経緯

平成12年6月	市議会に「平和祈念館(仮称)の設置について」の請願が提出され、趣旨採択。資料の散逸や戦争体験者が亡くなっていく中、資料収集等の体制づくりは必要。遊休施設の活用も考えられるとの意見があり、趣旨適当と認め採択。
平成13年～	平和資料収集委員会(請願提出団体を中心とした任意団体)を設置 戦争遺品等の資料収集を開始
平成15年7月	旧竜丘公民館(時又ふれあいセンター)へ資料を保存・展示
平成26年7月	旧竜丘公民館の建替えに伴い飯田市公民館へ平和祈念館資料室として移転
令和4年5月	公民館の移転にあわせて、ムトスぶらぎへ飯田市平和祈念館を開館

## 2 寄贈・寄託を受けている平和資料

(1)寄贈・寄託者数 66人

(2)平和資料数 1,795点

分類	総数	うち展示数
衣類・装備品 (軍服、防空頭巾など)	79	15
家財道具(皿、表札など)	6	5
貨幣・金券 (衣料切符、百円札など)	16	1
玩具(人形、かるたなど)	13	5
機械・工具 (医療器具、注射器など)	7	7
携行品 (軍隊手帳、水筒など)	51	13
写真	530	0
書籍(当時の雑誌など)	121	16

分類	総数	うち展示数
資料(航空隊教科書、世界地図など)	343	19
通信具(軍事郵便など)	397	5
日用品 (食缶、陶製湯たんぽなど)	55	23
武具(戦車の砲、機関銃薬きょうなど)	14	5
褒章品(徳利、賞状など)	74	3
巻物(軍記など)	1	0
その他(日章旗、盃など)	83	9
未分類(寄せ書きなど)	5	0
合計	1,795	126

## 3 飯田市平和祈念館の概要

開館日 年中無休(年末年始は除く)  
 開館時間 午前8時30分から午後10時00分  
 入館料 無料  
 床面積 189.77㎡

※入館人数はカウントしていない。出口にアンケート回収箱を設置し、観覧しての感想を寄せていただいている。

## (1)設立趣旨(一部抜粋) 全文は参考資料のとおり

(前略)私たちは、この平和祈念館において、平和資料を通して戦時下の悲惨で過酷な状況を学ぶとともに、当地域の満蒙開拓の歴史を始めとした内外の「戦争の惨禍」の真実から、一人ひとりが「平和とは何か、そのために何をすべきか、何ができるのか」を考え、次世代に平和の大切さを語り継ぎます。  
(後略)

## (2)展示内容の基本的な考え方

\*展示内容については、飯田市が責任を負うものとする。  
 \*学術研究の成果に依拠し、歴史史料としての根拠、出典が明確なものを展示する。  
 \*市民が、平和の大切さや尊さについて、自ら主体的に学び、考えることができる展示内容にする。  
 \*戦争の歴史を、多角的に学ぶことができる展示内容とし、戦争によって残された遺族が責められることのない展示とする。  
 \*小学生から高校生までの学校での学習を基礎にして、子どもの発達段階に即して、「主体的で、対話的な、深い学び」が可能となる展示内容とする。  
 \*住民との対話・交流等のコミュニケーションを継続的に深め、住民の合意を得ることが可能となる「公共空間」にふさわしい展示内容をめざす。  
 \*基本的人権を尊重した展示内容とする。特に著作権の侵害がないことや、個人情報への配慮を行うものとする。

(3)展示のテーマ(展示の流れ) 詳細は見学用メモ用紙の裏面をご覧ください。

- ①戦争への道 軍国主義への抵抗
- ②戦争の恐ろしさ
- ③戦時下の暮らし
- ④戦争のない世界へ
- ⑤共生により未来の平和を

#### 4 飯田市平和祈念館の活用実績

(1)飯田市平和祈念館での展示案内の実績

※希望者から事前申込を受けて対応

15団体 延176人(うち中学校 1校 延24人 )

(2)平和資料の貸出実績

1団体

※ 団体が参加している地区公民館の文化祭の展示用としてパネル、軍事郵便、千人針、奉公袋など  
6種類11点を貸し出し、市民の平和の尊さを伝えていく機会とした。

(3)満蒙開拓平和記念館との連携した取組

- ①パートナー自治体WEEK(満蒙開拓平和記念館の入館料無料) 令和5年2月13日～2月19日
- ②満蒙開拓平和記念館の出張パネル展(飯田市平和祈念館に展示) 令和5年1月28日～2月5日

(参考)

飯田市平和祈念館の開設を契機とした、高校生及び若者世代を対象とした平和学習講座

- 戦争体験等を聞く機会の少ない高校生や若者世代を対象にして、戦争の惨禍から平和について考えるとともに、お互いの文化的ちがいを認め合うこと、公平な社会であること、人権が守られていることなど、これからの平和の在り方を主体的に学び、平和を次世代に語り継いでいくことを目的として、「平和・人権・多文化ゼミナール」を開催した。
- 高校生を指導した経験のある元教員や、高校時代に平和ゼミナールなどに参加した経験のある若者(ユースアドバイザー)に協力をいただきながら運営。
- 令和4年度7回開催 参加者延69人
- 参加した高校生の声(抜粋)
  - ・平和とは戦争がなくなることだけではないということを知ることができてよかったです。
  - ・私達の今の行いが将来の子孫に影響すると思うと色々よく考えなければいけないと思いました。
  - ・口に出して戦争のことを話す機会がなかったので、参加できてよかったです。また、色々な意見や考え方があり、知ることができてよかったです。
  - ・友達と聞く、言い合う、共感することが大切だと思った。当たり前で寝る、ご飯を食べることは何よりも幸せだなと感じました。
  - ・自分のことばかりではなく、他の世界の人、文化に目を向けていくことが大切だということを改めて学べるようになりました。

## 飯田市平和祈念館 設立趣旨

飯田市は昭和五九年六月二八日に「非核平和都市宣言」を行い、世界唯一の被爆国として、広島、長崎の惨禍を再び繰り返さないため、平和憲法の本質にのっとり、「非核三原則」を将来ともに尊重し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し、世界の恒久平和達成を目指しています。

飯田市平和祈念館は、戦争の悲惨さや、平和の大切さを学び、戦争の現実を語り継ぐことにより、平和な社会が続くことを切望する、多くの市民の願いによって開館されました。

ここに展示・保管されている数多くの平和資料は、実際に戦争を体験された皆さんが身に着けた物や、使用していた品々です。いずれもご本人やご遺族から寄贈・寄託された貴重な資料です。

私たちは、この平和祈念館において、平和資料を通して戦時下の悲惨で過酷な状況を学ぶとともに、当地域の満蒙開拓の歴史を始めた内外の「戦争の惨禍」の真実から、一人ひとりが「平和とは何か、そのために何をすべきか、何ができるのか」を考え、次世代に平和の大切さを語り継ぎます。

令和四年春

飯田市



## 飯田市平和祈念館に展示してあるパネルの一覧

### ◆ 導入

- ・飯田・下伊那の戦争遺跡 MAP
- ・第二次世界大戦までの年表
- ・飯田市 非核平和都市宣言
- ・飯田市平和祈念館 設立趣旨
- ・飯田市平和祈念館 設立経過

### ①戦争への道 軍国主義への抵抗

- ・飯田下伊那の自主化した青年会と軍事教育反対運動
- ・爆弾三勇士の石像 飯田の有志が寄付を呼びかけて制作
- ・草の根の軍国主義 信州郷軍同志会
- ・戦争へとつながった「二・四事件」 長野県史上最大の弾圧事件
- ・日本中で1番多かった満洲移民・満蒙開拓青少年義勇軍の送出

### ②戦争の恐ろしさ

- ・新東亜建設大地図
- ・日中戦争 南京への進軍経路が書かれた日章旗
- ・特攻隊員の手紙
- ・飯田にも特攻隊員がいた
- ・主に外国人の労働によって建設された 平岡ダム・飯島発電所
- ・連合軍捕虜・中国人労務者のようす
- ・朝鮮人労働者と戦後のようす

### ③戦時下のくらし

- ・アジア・太平洋戦争における日本軍の勢力圏と連合軍の反撃
- ・軍事郵便から見る兵士の生活 検閲で黒塗りの軍事郵便
- ・爆弾片が貫通した銀行服 川崎空襲で瀕死の重傷を負った池田春子さん
- ・服装・所持品から見る兵士の生活
- ・暴力といじめの軍隊
- ・赤紙から始まる軍隊生活
- ・学童疎開した子どもたちの生活
- ・伊那谷は米 B29 編隊の通り道 飯田・下伊那の空襲①
- ・飯田・下伊那の空襲② 米軍爆撃機 B29 の機影と爆音におびえていた伊那谷の人々
- ・飯田・下伊那の空襲③ 「iida」も「米軍攻撃目標」にリストアップされていた
- ・飯田・下伊那の空襲④ 各地につくられた防空監視哨当時の人間レーダー網
- ・飯田・下伊那の空襲⑤ 白壁が「月夜に光って爆撃される」ことを恐れて…
- ・戦時下の子どもたちと学校生活
- ・子どもたちが送った千人針
- ・訓練を繰り返し「空襲警報」下で避難した小学生
- ・銃後の守りー戦争中の女性たち
- ・松の木から油を③ 松根油生産に使用した乾溜釜
- ・松の木から油を① 村々を巻き込んだ国策～松根油・松脂製造と供出
- ・松の木から油を② あわただしく取り組んだ半年間の徒労の国策
- ・戦死者への弔辞ー戦時中と戦後の弔辞を比較してー
- ・飯田下伊那の戦没者数

### ④戦争のない世界へ

- ・戦争のない世界へ1 日本国憲法の制定ー民主的平和国家への指針
- ・戦争のない世界へ2 新しい憲法の普及をはかる
- ・戦争のない世界へ3 戦争を防ぎ人権保障と平和推進を進める
- ・戦争のない世界へ・年表

### ⑤共生により未来の平和を

- ・平和・人権・多文化ゼミナール成果物
- ・ウクライナ支援(ウクライナリボンを通した募金活動啓発パネル)

# 飯田市平和祈念館来館者アンケートのまとめ(開館～R5.1 末)

有効回答数 182 人

## ①居住地区

飯田市内(125人) 下伊那郡(14人)長野県(16人) その他(25人) 不明(2人)

※その他の内訳 東京都(9人)、愛知県(5人)、山形県(2人)、神奈川県(2人)、埼玉県(2人)、山梨県(1人)、岐阜県(1人)、奈良県(1人)、福岡県(1人)、アメリカ(1人)

## ②年齢

小学生(8人)中学生(4人)高校生(8人) 大学生(7人) 社会人(155人)

※社会人の内訳 10代(1人)、20代(5人)、30代(8人)、40代(10人)、50代(19人)、60代(30人)、70代以上(70人)、不明12人

## ③自由記述(抜粋)

### 【場所・施設】

- ・公の館でこのような施設は珍しいです。飯田の先進性と皆様の苦労が浮かばれます。勉強になりました。(東京都・60代)
- ・目にふれて戦争を実感できる良い施設だと思います。平和について子供や若者が知り、考えさせられるような施設に育てていってください。(市内・50代)
- ・各学校へアピールし、小中学校にもっと見てもらいたいと思います。(市内・40代)
- ・若い世代の人達にみてもらえるとよい(愛知県・60代)
- ・戦争はあってはならないと改めて感じました。わかりやすいパネル、数ある中から興味を持てる展示品いろいろとご苦労があった事と思います。展示物を盗まれたり傷つけられたりしないように工夫してください。(市内・70代以上)
- ・他県出身で4月(R4)から貴市在住していますが、信州(下伊那)での戦争の状況がよくわかりました。このような良い取組みがアピールされているのでしょけれども、この図書館をたまたま利用するまで知りませんでした。もっと多くの人に関心を持ってもらえるようなPRなど大変でしょうが取り組まれたら良いかと思いました。非常に良い取組みと思いますので応援しております。ありがとうございます。勉強になりました(市内・30代)
- ・こうした若い人が多く訪れるオープンな場所に平和を学ぶ施設と図書館があるのは素晴らしいと思います。ありがとうございます。(長野県・50代)

### 【展示内容・案内】

- ・年表、戦時中の軍用品・手紙・被害の詳細など、どの展示にもわかりやすい解説があり素晴らしい。様々な実物展示に、一般市民の戦時中の思いがわかるように解説されている。どれについても「なぜ？」が伝わる(山形県・社会人)
- ・遺品の展示と説明のパネルがとても見やすく分かりやすくされていて、順路に沿って戦前、戦中、戦後の歴史の流れをつかむことができた。(下伊那郡・60代)
- ・地元の貴重な資料が多く集まっており見応えがあった。多くの市民が見るべきだと思う。ただ、戦争の悲惨な面を強調することで、平和教育とするのは時代錯誤ではないかと思う(市内・40代)

- ・以前広島に住んでいた為、広島の平和祈念館にも何度も伺いましたが規模の違いもありますが、子供達に伝えるのには物足りないかなと。ただ「伝える」と言う事は必要だと思うので、学校のクラス単位や少しでも人の目にふれる活動して頂けたらと思います(市内・50代)
- ・千人針を母が作っていた事を思い出しました。父を義勇軍として戦地へ送った話を聞きました。(市内・70代)
- ・貴重な資料が地元これほど沢山残っていることに驚きました。パネルのゆがみが安っぽく残念(市内・40代)
- ・展示品が少な過ぎる(市内・70代以上)
- ・定期的に企画を更新されることを希望(とても大切なコーナーだと思います)(市内・50代)
- ・戦争の歴史をわかりやすく説明してあり、寄贈された実際に使われた物の展示が多くて、迫力がありとても勉強になりました。戦争がどのようなものかを理解して平和を守るために考えていくことの大切さを感じました。多くの人に見てもらいたいと思いました(福岡市・50代)
- ・731部隊についての説明が少ない。というかない。731部隊の展示をするなら731部隊について客観的な説明があってもいいと思う。ただ単に平和を言うだけでなく様々な平和に対する考えを載せるべきだと思う。話し合いでどうにかなる世界が一番いいが、現実そうでない所が多い。多様な考えを知るために、両者の立場で考えを展示するといいい。若い学生は、どちらがいいと判断するのは別としてそれを見て判断するのが理想(市内・30代)
- ・様々な遺品が展示されており、素晴らしいと思います。戦死された方々の思いは如何だったか、心よりお悔やみ申し上げます。中国人を始め東南アジア、朝鮮の方々の無念を思います。731部隊の犠牲になられた方々に心よりお詫び申し上げます。731部隊のことがよくわかりません。詳しい説明をぜひお願いします。(市内・70代以上)

#### 【平和についての感想】

- ・豊かに育ってきた私たちが、今ロシアとウクライナの戦争が始まったりで、戦争を少し近く感じるようになりました。深く考えさせられました。(郡内・40代)
- ・飯田出身の方が戦争の時代にいろんな人生を送られたこと、これからの日本人のため残された多くの物などとても勉強になります。生まれた時代が違うだけで、見る世界がこんなにも違うこと他人事のように思えません。いろいろと感ずることがありました。平和祈念館に来てよかったです。(市内・20代)
- ・自分に近い年齢の人が国のために亡くなっていて、こういうことは絶対に繰り返してはならないと改めて思いました(市内・高校生)
- ・今の日本の豊かさに改めて気づくことが出来ました。これだけ経済的に豊かになった地域で、まだ戦争が繰り返されること、何を変えればよくなるのか、戦争がなくなるのか、1人1人の中にいかに平和を作り出せるかが大切だと感じました。(下伊那郡・不明)
- ・自分達と日常と戦争の繋がりが実感出来ていなかったが、リアルな飯田の歴史として感じる事ができました(市内・40代)
- ・後期高齢者ですが、今まで何となく知っていた知識に加えて貴重な多くの事を知りました。私自身は、終活年齢ですが、これからの日本を生きる若い方々にこうした資料を見て平和の尊さを感じてほしいと思います。この祈念館自体は小さなものの様で、日本中を探せばもっと多くの資料が見つかるかもしれない、そうなると良いと思いますが、この小さな祈念館の資料だけでもかなりの事を知る事ができます。多くの人々に観てほしいと思いました(市内・70代以上)